

經濟環境委員會記錄

[第2日目]

1 日 時 令和3年3月16日（火曜日）

開 会	午前10時27分
休 憩	午前10時53分
再 開	午前11時13分
休 憩	午前11時14分
再 開	午前11時17分
休 憩	午前11時20分
再 開	午前11時42分
閉 会	午前11時48分

2 場 所 第3委員會室

3 出席委員 8人

委員長	江西照康
副委員長	金谷幸則
委 員	木下章広
//	高道秋彦
//	東 篤
//	小西直樹
//	金厚有豊
//	堀江かず代

4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【環境部】

部長	伊藤 曜一
理事（環境センター所長）	伊東 繁
部次長	杉谷 要
環境政策課長	小川 徹雄
環境保全課長	飯田 哲
環境センター次長（管理課長）	長崎 秀樹
環境センター業務課長	高土 春樹
環境政策課主幹（調整担当）	田近 淳
環境政策課主幹	小林 将司
環境政策課主幹	東福 光晴
環境センター管理課主幹（管理課長代理）	谷井 康修

【商工労働部】

部長	大場 一成
部次長	関野 孝俊
部次長（コンベンション・薬業・観光振興担当）	梅沢 宗仁
商業労政課長	高橋 洋
工業政策課長	坂口 輝之
薬業物産課長	西田 清和
観光政策課長	佐伯 徳生
公営競技事務所長	宮田 一博
職業訓練センター所長	木下 満
牛岳温泉スキー場所長	中澤 栄三
商業労政課主幹（調整担当）	山崎 悟

【農業委員会事務局】

事務局長	浅野 朋之
事務局次長	久郷 元幸

【農林水産部】

部長	山口 忠司
理事（技術担当）	井水 清智
部次長	高嶋 善秀
農林事務所長	谷井 政人
地方卸売市場長	茶木 聖一
参事（農村整備担当）	笹岡 覚
参事（市場再整備推進担当）	杉本 周児
参事（農業水産課長）	本林 成元
参事（森林政策課長）	桐溪 修一
参事（農村整備課長）	前田 剛
農政企画課長	高田 興真
農林事務所農業振興課長	余川 洋成
農林事務所農地林務課長	谷崎 友紀
地方卸売市場次長	水野 智
営農サポートセンター所長	山崎 晃
農政企画課主幹（調整担当）	岡地 睦美

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	野嶽 誠司
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主任	河原 絢加

7 会議の概要

委員長 経済環境委員会を開きます。
これより、環境部所管分の議案の審査を行います。
議案第58号 富山市地域し尿処理施設に関する条例の一部を改正する条例制定の件を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

環境保全課長 〔議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第58号の討論に入ります。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。
これより、議案第58号を採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに御異議
ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、本案件は原案可決されました。

以上で、環境部所管分の議案の審査を終了いた
します。

次に、

第2次富山市SDGs未来都市計画について、
富山市エネルギービジョンの策定について、
当局の報告を求めます。

環境政策課長

〔委員会資料により説明〕

委員長

ただいまの説明について、何か質問はありま
せんか。

小西委員

委員会資料5ページに、火力発電所の排出ガ
スからCO₂を分離して地下貯留槽にため
るとありますが、これは日本で現在やっている
ところがあるのですか。いろいろな条件もあ
ると思うので、現状でこれが可能なのかどう
か伺います。

環境政策課長 実用化に向けて研究中と聞いております。

小西委員 研究中ですか。

環境政策課長 はい。

東委員 第2次富山市SDGs未来都市計画に関して
お伺いします。
SDGsは、持続可能な開発のための17の
グローバル目標と169のターゲットの達成
基準から成る国連の開発目標と、大変壮大な
ものでございます。したがって、今も説明が
ありましたように、本市においても、このこ
とについていろいろと実施していくためには、
本当に部局横断的にやっていかなければなら
ないということです。
環境部が担当ということなのですが、他の部
局で実施していることの実績が分かるような
もの、そういう資料なども作成して市民に啓
発する、あるいは小・中学校向けの資料も作
成して推進をしていく、そういうところまで
しっかりと取り組む必要があると思うのです。
そういう計画や、今回のこの推進計画を立て
て、やっていこうとしている具体的な内容と
いいますか、もう少し分かればいいなと思い
ましたので質問します。

環境政策課主幹 これまでSDGsで取り組んできた部局横断的な取組としましては、例えば富山市では公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを象徴しますLRTネットワークの整備ですとか、おでかけ定期券、また、モビリティ・マネジメントといった公共交通の取組ですとか、環境面で行っております、未来に繋ぐ小学生植樹体験事業、こういったものにつきましては既に計画の中で位置づけておりまして、それを分かりやすいパンフレットという形で市民向けにお示ししております。

小学生をはじめとしますSDGs教育の授業におきまして、こういったパンフレットを活用しながら出前授業などを展開しておりまして、第2次計画を策定した暁にはパンフレット等も作成しまして、こちらも分かりやすくお示しをしていきたいと思っております。

東委員 壮大な計画—市民にも分かりやすいというか、このようなことを言っていますということで、常々いろいろとPRをお願いします。

委員長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。
次に、環境部所管分で、議案及びただいまの
報告以外に何か質問はありませんか。

小西委員 自転車市民共同利用システム「アヴィレ」に
ついて質問いたします。
このアヴィレの導入当初、「事業内容としま
しては、市の中心市街地に15カ所の貸出拠
点となるステーションを設置し、自転車シェ
アリング用の自転車を150台導入し、路面
電車等の公共交通を補完する新たな交通網と
して、近距離の自動車利用の抑制を促し、C
O₂排出量の削減を図る」—今のSDGsの
課題と同じですけれども—「とともに、中心
市街地の活性化や回遊性を高めることが期待
されており、国内初の本格的な自転車シェア
リング事業として、また、新たな自転車文化
の幕開けとして期待しているところです」と
平成21年に当時の環境部長が答弁されてい
るわけです。しかし、現在までの利用状況は、
自転車1台当たり、1日0.9回、1回当た
り9分程度だとお聞きしております。
この状況を環境部としてどのように評価され
ているのか、お伺いいたします。

環境部長 本会議で赤星議員の御質問にもお答えしたと

おりでございまして、どの側面のどの切り口でこのアヴィレを評価するのかということだろうと思っています。

その0.9回が多いか少ないかという議論はもちろんあるのでしょうけれども、富山市としてはそういった目的でアヴィレを導入したということについては小西委員のおっしゃったとおりでございまして、市長の答弁もありましたけれども、環境面だけの切り口ではなく、総合的な物の見方をせよと。都市の景観に溶け込むですとか、都市の格というような答弁があったと思いますけれども、全体を見てこのアヴィレというものを評価しなければならないと。

利用回数につきましても、導入当初に比べまして、北陸新幹線の開業、それから、路面電車の南北接続等々によりまして一平成28年度以降の細かい数字は今持っていませんが、目にした限りにおきましては、特に北陸新幹線が開業した次の年、平成28年度からの数字はやはり非常に伸びておりまして、実感、実態としても、少人数で、例えば家族連れ、二、三人での観光客がアヴィレの1日パスを利用して中心市街地を回遊するという現象も顕著に見られております。

富山市としては、このアヴィレの導入につい

では効果があったと評価をしているところでございます。

金厚委員　　今ほど環境部長が言われたとおりで、本会議において市長があれほど丁寧にきちんとした説明をなさっているのに、再度同じ質問を委員会でもしようがない話だと思います。このまま議事進行してください。

委員長　　よろしいですか。

小西委員　　もう一つですけれども、シクロシティ株式会社とエムシードウコー株式会社への有料での広告掲載についてですけれども、自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の導入時、平成21年12月議会で、当時の環境部長は「富山市及び関係団体は広告主になるのかにつきましては、広告を出すことは可能であります。広告パネルの歩道側には、無償で市内の地図情報を掲出することとしており、広告面へ有料で掲出することは考えておりません」と答弁されておりました。

ところが、この5年間だけでも年々広告料が増えていまして、今年度では、広報課、ガラス美術館、市民文化事業団を合わせて年間3,267万6,538円となっています。広報

課ではそのほかにも別予算があると言っておられましたけれども……

委員長 小西委員、発言の途中ですが、これは環境部に対する質問にたどり着きますか。

小西委員 当時答えておられるのは環境部ですから、当初の答弁から方針が変わったのは、いつから、どういう経過なのかお聞きしたいと思います。

委員長 これは、広告や企画を管理する一総務文教委員会の話になるかと考えるのですが、どうでしょう。環境部長はどのような御判断でしょうか。

環境部長 シクロシティ株式会社への広告料につきましては、今、小西委員から話がありましたけれども、環境政策課の分もあれば、ガラス美術館単体で支出するもの、広報課が支出するものもあるということでございますので、それをまとめて環境部で答えるということはいささか、とは思いますが、当時の環境部長がそのようなトーンで答弁されたのに今は違うではないかという趣旨の御発言だろうと理解して、そのことでお答えするとするならば一本会議の答弁はもちろん重く、尊重すべ

きものではありますが、事情というのはその都度、年々変わってくるわけです。

この広告に対する考え方で、効果が顕著だということであれば、その時点で、当時の答弁にとらわれることなく果敢に広告を打つ、それが富山市のPRに、また、各種事業、イベントのPRにつながるという判断があれば、それは可能なことだろうと思っています。

今現在やっていることでありますので、その方針がいつ変わったのかなどということを私に問われても、それはなかなかお答えはできませんけれども、効果的な広告をその都度打っているというふうに私どもは理解をしております。

委員長

よろしいですね。

これ以外で、ほかに何か質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

ないようですので、この程度にとどめます。

以上で、経済環境委員会環境部所管分を終了いたします。

午前10時53分 休憩

~~~~~

午前 11 時 13 分 再開

委員長 経済環境委員会商工労働部所管分に入ります。  
本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はありませんので、この際、何か質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会商工労働部所管分を終了いたします。

午前 11 時 14 分 休憩

~~~~~

午前 11 時 17 分 再開

委員長 経済環境委員会農業委員会事務局所管分に入ります。
本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はありませんので、この際、何か質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。

以上で、経済環境委員会農業委員会事務局所管分を終了いたします。

午前 11 時 20 分 休憩

~~~~~

午前 11 時 42 分 再開

委員長 経済環境委員会農林水産部所管分に入ります。本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はありませんので、この際、何か質問はありませんか。

小西委員 予算の中で、スマート農業とか、スマート果樹、スマート水産業、そしてスマート農業支援事業を計上しているのですが、国連は2019年からの10年を国連「家族農業の10年」として、家族農業を非常に重視していこうと。食糧難だとか飢餓をなくすという観点で、そういうことを言われているわけです。

このスマート農業やスマート水産業等と国連「家族農業の10年」との関係というか、その役割についてお聞きしたいと思います。

農政企画課長 家族農業に関するスマート農業等の取組につきまして、まず、スマート農業は、ロボット

やICT、AI等を活用した農業ということで、結構幅広いくりになっておりまして、農地を大規模化してフルスペックでスマート農業を行うという方法もあれば、家族経営として小さな規模でスマート農業を行うという形もあります。

実際に、来年度の新規事業でありますスマート果樹事業につきましては、ほぼ100%家族経営で従事しておられるということで、私どもが今年度ヒアリングした際には、70歳以上と高齢者が多いのでこういったスマート農業に取り組みたいとか、スマート農業という言葉をよく耳にするけれども、こういったことをするのか、まずは市が率先して先導的に取り組んでもらえれば取り組みやすいとか、そういったお声もいただいておりますので、それらを踏まえながら、家族経営の方にも取り組みやすいように、検討してまいりたいと思っております。

国連「家族農業の10年」にどう反映するのかということですが、これは国連で定められてまして、家族農業で得た知見を共有するという役割だと思っておりますけれども、そういったことについては、国際連合食糧農業機関が窓口になっておりまして、横浜に駐日事務所があるということです。

スマート農業や、そのほかの分野でも家族農業について知見があれば、そういったところに共有することを検討していきたいと思っております。

小西委員 今言われたことで、確認ですけれども、例えば高齢の農業従事者についても、スマート農業を適用していくということですよ。

農政企画課長 はい。

小西委員 ぜひともそういう形で、やはり高齢者の農業に対する負担を少しでも和らげるという観点で、スマート農業を非常に大事にしてもらって、そういう施策を進めていただきたいということを申し上げておきます。

委員長 ほかに質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。以上で、経済環境委員会農林水産部所管分を終了いたします。これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。



委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和3年3月定例会の経済環境委員会を閉会いたします。

令和3年3月定例会  
経済環境委員会記録署名

委員長 江西 照 康

署名委員 高道 秋 彦

署名委員 金厚 有 豊